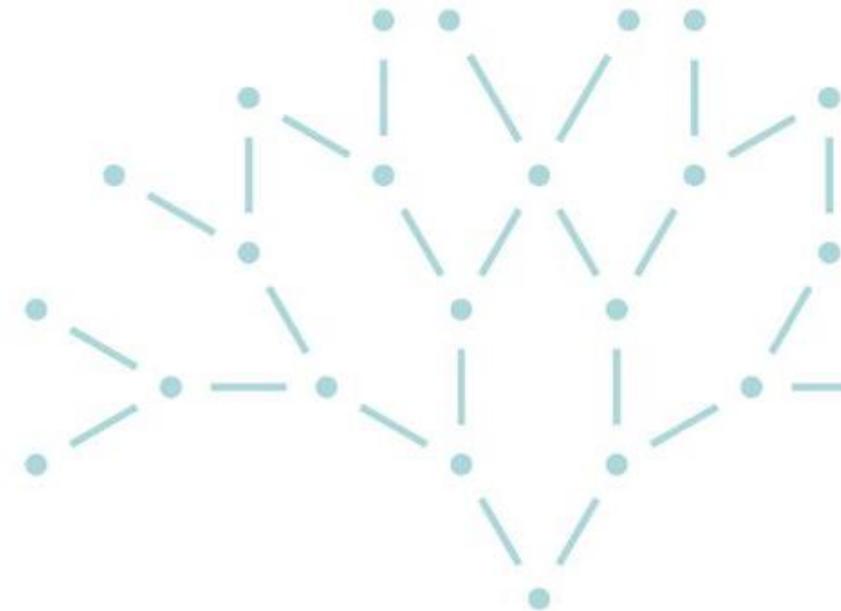


# ネイチャーズウェイグループの SBTへの取り組みについて

管理・企画室 宮地  
2024/11/20



# ネイチャーズウェイ

設立：1974年6月11日

事業所：名古屋本社（工場）、東京支社  
名古屋事務所、一宮工場  
フローラプレイス高崎

従業員数：220名

事業内容：自然化粧品研究開発、製造  
販売、卸、輸出、輸入、OEM

## 企業理念 (ミッション)

自然との融和による  
美と健康の創造

## ビジョン

豊かな笑顔が響き合う明日

## バリュー

損得より善悪、100年続く企業、伝統と革新

## 行動規範

安全が生む安心・明元素、失敗と成長、  
ONE NW(ワン ネイチャーズウェイ)



山梨県北杜市に栽培面積3,850m<sup>2</sup>の自社農場保有



2012年『有機JAS認証』を取得

国が定める厳しい基準をクリアし、  
安全な有機（オーガニック）農産物であると認められています。

お客様と社員と一緒にハーブを育てています



# 名古屋本社工場

製品の開発からバルク（化粧品の中身）の調合製造、  
容器への充填、包装までを一括して行っています。

2017年3月 化粧品GMP認定取得

Good Manufacturing Practice

「医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準」



# ブランド紹介



  
**Sanders Perry**



**naturaglacé**



**BIOLAB**



**WELEDA**



**chant a charm**

**DR. BRONNER'S**



# ネイチャーズウェイ サステナブルプログラム

サーキュラーエコノミー

カーボンニュートラル

笑顔の共創

# サーキュラーエコノミー（水平リサイクル）：「Cap to Cap」

ネイチャーズウェイ  
商品販売/購入



商品として使用



使用済み容器の回収



全回収拠点から収集



充填・包装して製品に



元の製品容器キャップに成型



使用済み容器を素材別に選別  
(今回はキャップを選別して利用)



安全性試験

再生樹脂ペレットに加工

(自社回収容器原料40%、端材原料60%)



粉碎、洗浄



# SBT(Science Based Targets)



パリ協定（世界の気温上昇を産業革命前より2°Cを十分に下回る水準に押さえ、また1.5°Cに押さえることを目指すもの）が求める水準を整合した、5年～15年先を目標年として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標のこと。

**2021年7月20日に取得**

**国内ナチュラルオーガニックコスメ企業としては初の事例 (※)**

※TPCマーケティングリサーチ(株)調べ (2021年7月調査)

ネイチャーズウェイグループの売上の一部を

## 「ネイチャーズウェイサステナブル基金」

として積み立て、

植林や里山の保護などの環境活動、チャリティコンサートなどの社会貢献活動に役立てています。

- ネイチャーズウェイ年間営業利益の0.5%
- 包装資材の簡素化に伴い「サンダース・ペリー」「チャントアチャーム」の売上本数1本あたり3円

これまでの寄付金額

# 19,329,834円

(2008年～2024年7月までの累計)



ネイチャーズウェイグループは、2023年11月に取得

**Certified**



®

**Corporation**

株式会社ネイチャーズウェイ  
株式会社サンダース・ペリー化粧品  
株式会社ヴェレダ・ジャパン  
株式会社バイオラブ  
株式会社ハーブラボ

# カーボンニュートラル

# カーボンニュートラル

- SBT認証
- 省エネ
  - LED照明への切り替え
  - 空調省エネシステム導入
- リデュース
  - 製品のシュリンクフィルムを薄くする

# カーボンニュートラル

- SBT認証

- 省エネ

- LED照明への切り替え

- 空調省エネシステム導入

- リデュース

- 製品のシュリンクフィルムを薄くする

# SBT(Science Based Targets)



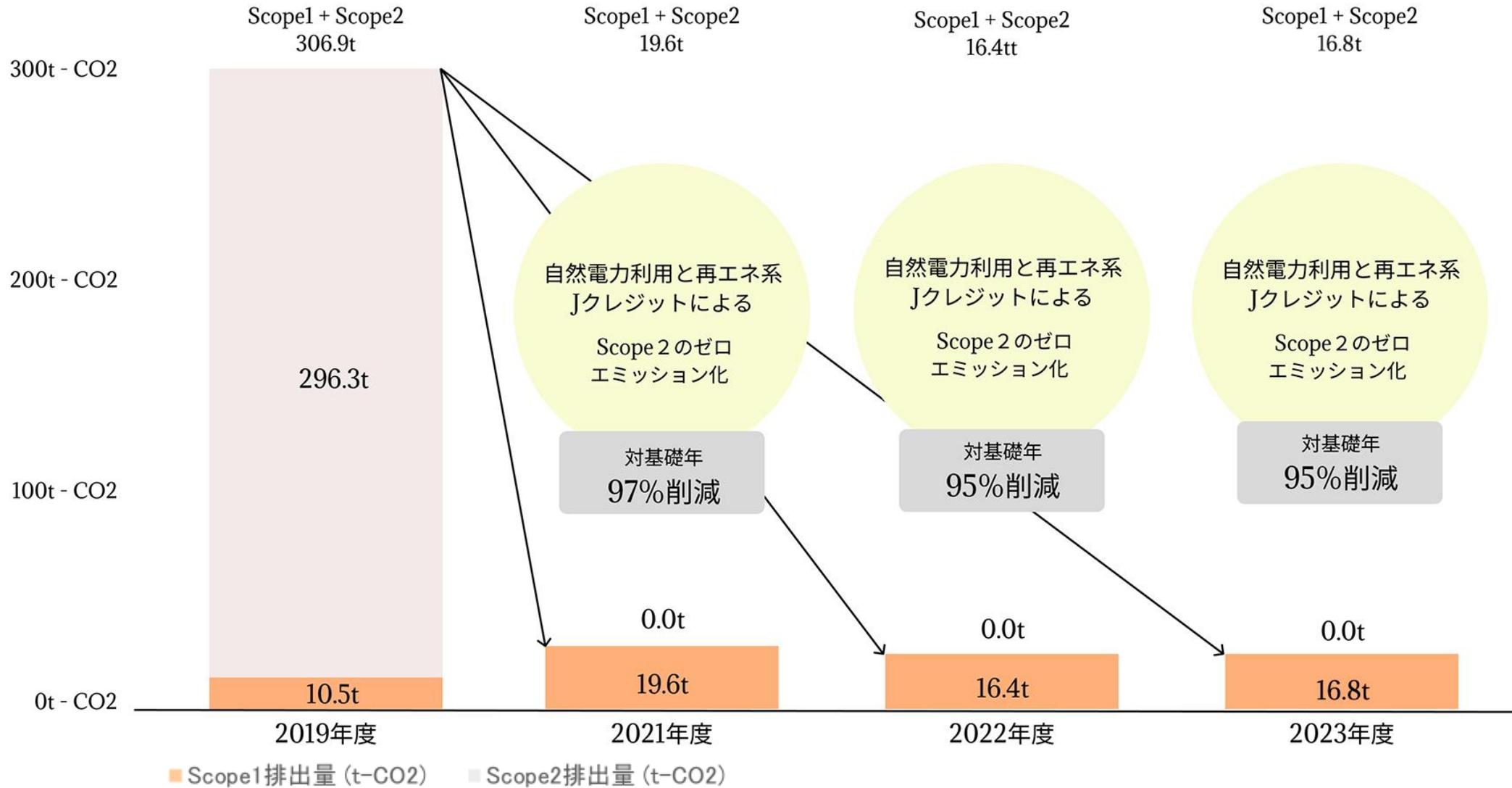
パリ協定（世界の気温上昇を産業革命前より2℃を十分に下回る水準に押さえ、また1.5℃に押さえることを目指すもの）が求める水準を整合した、5年～15年先を目標年として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標のこと。

2021年7月20日に取得

**国内ナチュラルオーガニックコスメ企業としては初の事例 (※)**

※TPCマーケティングリサーチ(株)調べ (2021年7月調査)

スコープ1・2排出量



## 再生可能エネルギー100%の電力を使用(本社・一宮工場)

「自然との融和による美と健康の創造」を企業理念に掲げている当社は、限りある資源を守るために安定的に自然エネルギーを創生出来るミツウロコグリーンエネルギー株式会社と契約、協力を得て従来の「CO2フリー、実質自然エネルギー100%由来の電気」の活用を、名古屋本社・工場と一宮工場にて再開いたしました。

今後も自然に優しいエネルギーを使った化粧品によって温暖化抑制と環境改善を行う社会貢献活動を続けて参ります。



©Shizen Energy Inc.

# スコープ1もオフセット

「森林(もり)の里親促進事業」  
～長野県小諸市糠地～

moretrees  
森林吸収系クレジット



moreTrees®

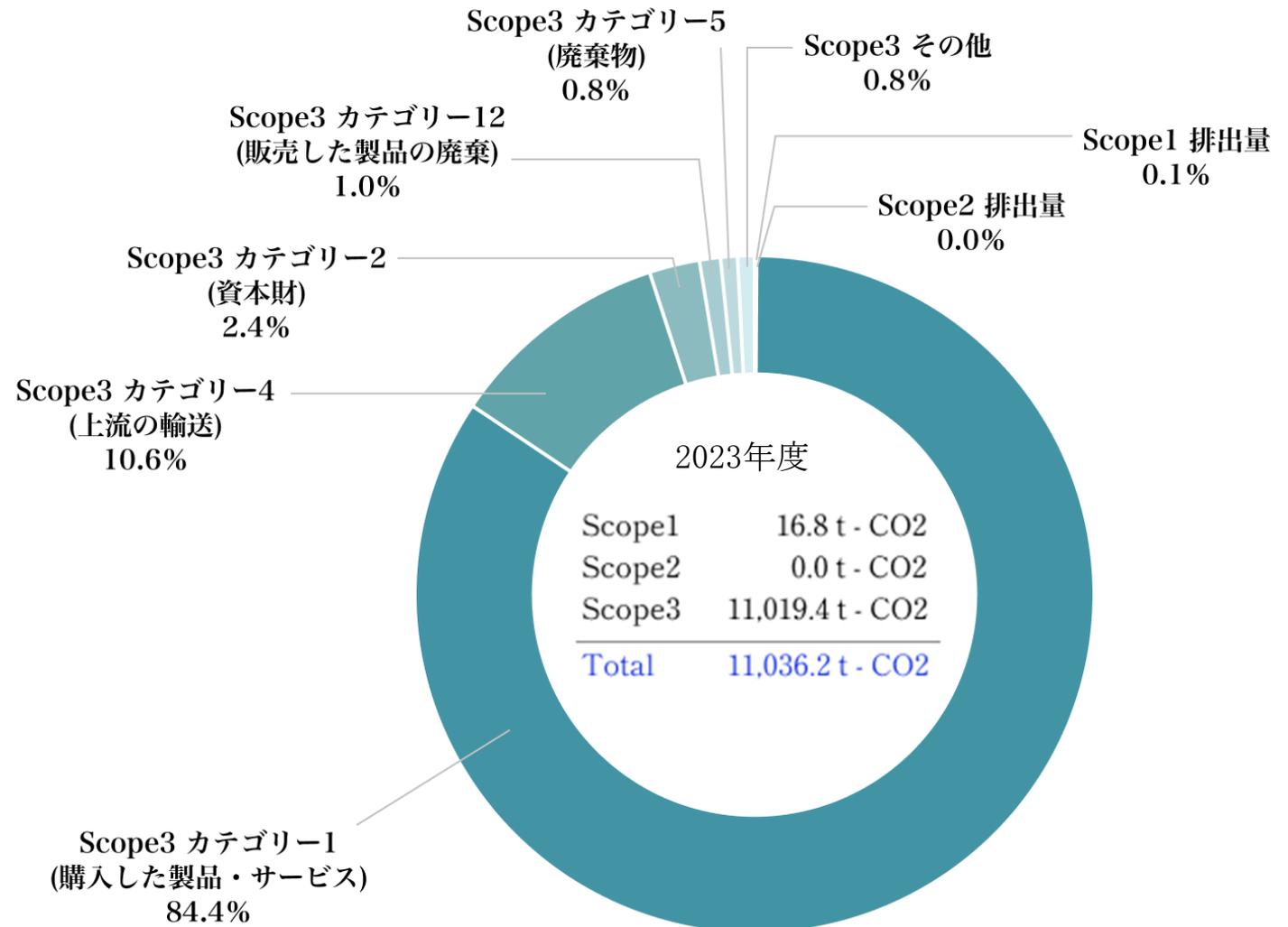
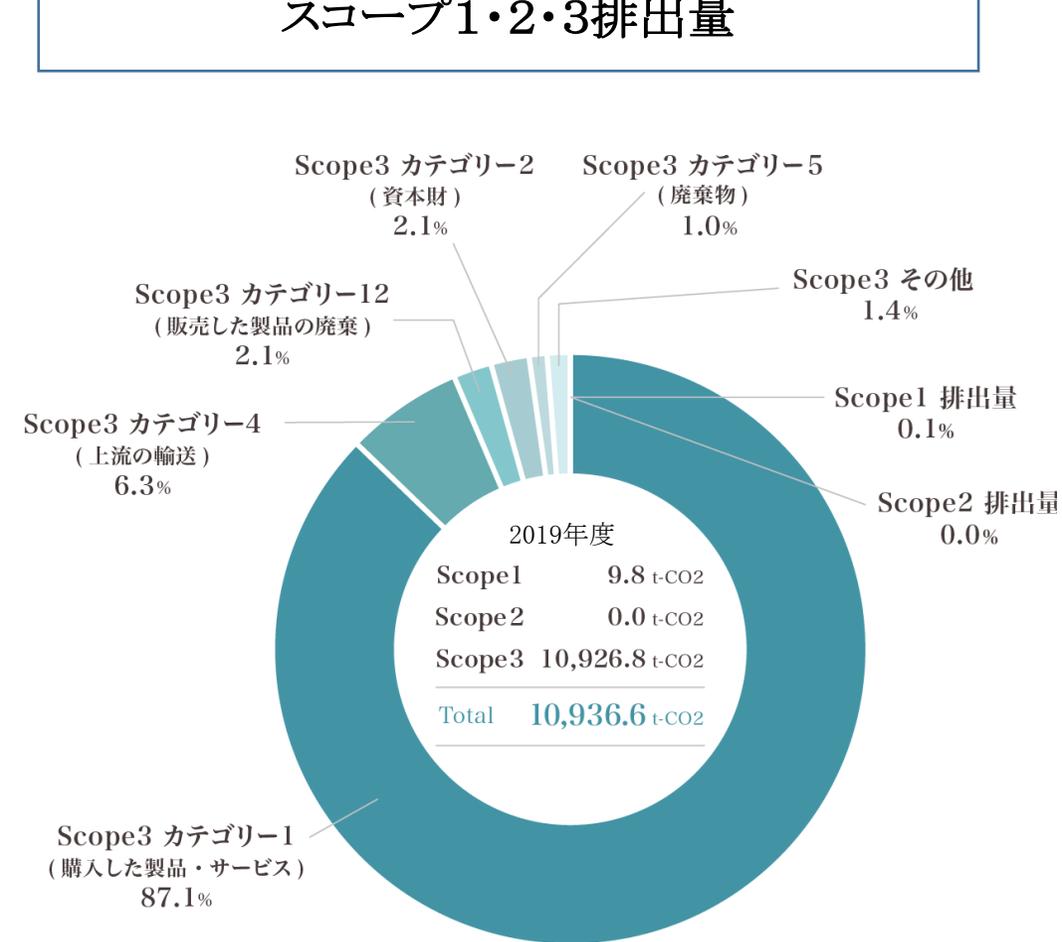
more treesの森: <https://www.more-trees.org/forests/>

more trees (岐阜県東白川村): <https://www.more-trees.org/forests/project11/>

## 現状の課題と今後の対策

- 現状スコープ1・2に関しては、カーボンニュートラルを達成している
- スコープ1を削減するため、ガス式のボイラーをヒートポンプ式に変更できるかを、製造現場と調整中
- スコープ2のGHGをJクレジットを購入することでゼロエミッション化しているが、近年価格が上昇しているため、別の方法も検討する

スコープ1・2・3排出量



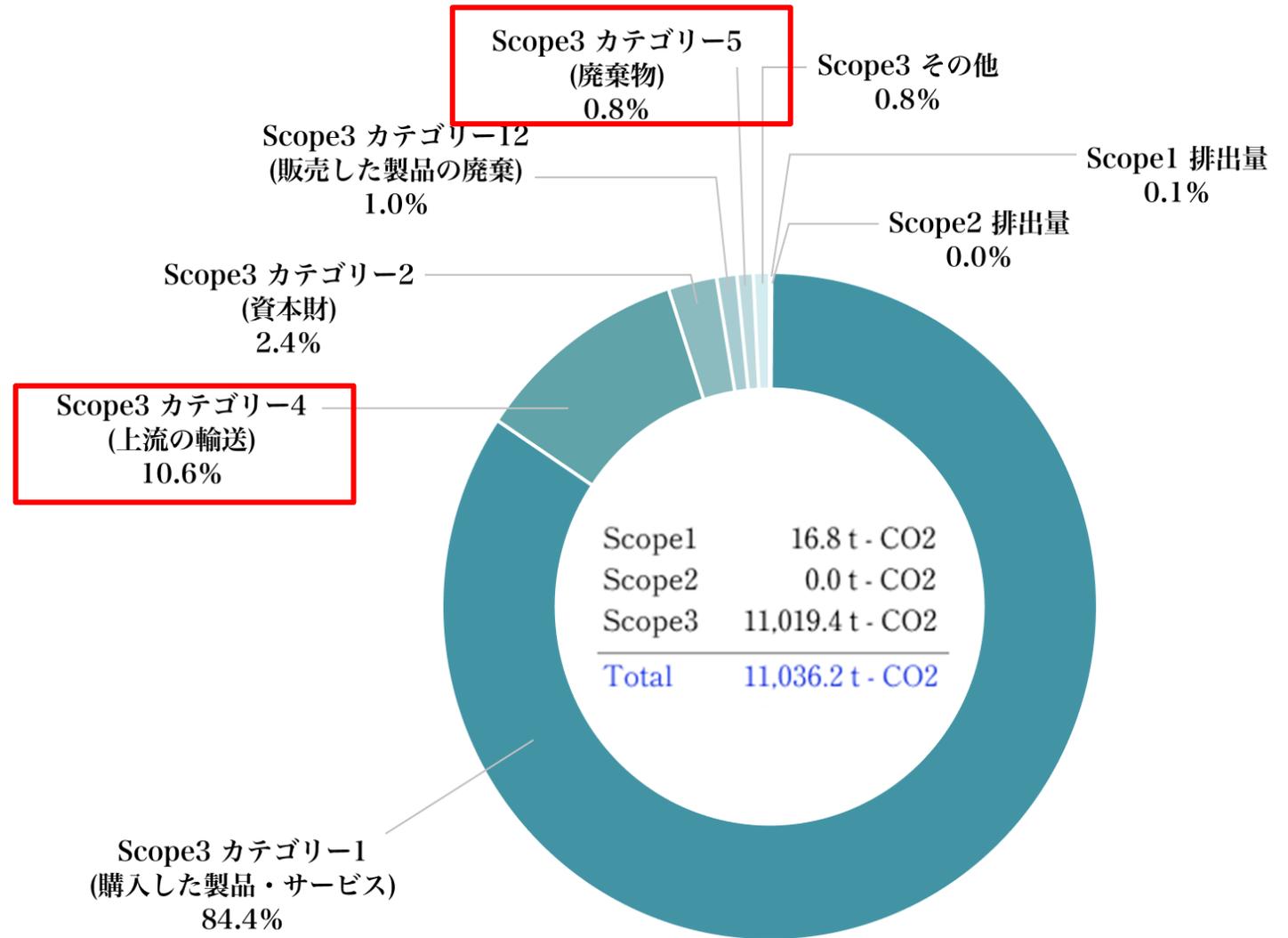
## スコープ3の課題と今後の対策

- スコープ1・2のGHGより、スコープ3のGHGの方がはるかに多い
- 初年度より測定はしているが、削減は行っていない
- 可能な限り、スコープ1・2はオフセットを継続し、スコープ3の排出量を削減していく

# 今後の対策

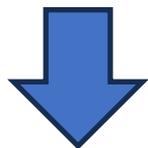
## スコープ3の削減

- ①一番排出量が多いカテゴリ1を削減すると効果は高いが、サプライヤーとの関係もあり難易度が高い
- ②自社でできることで、なおかつ削減効果の高いものに着目  
カテゴリ4、カテゴリ5



## カテゴリー4

現状の計算方法＝  
金額集計したものを環境省DB(産業連関表)にて換算したものの使用している



現状を正確に把握するため、  
物流会社と協力をして、トンキロ法で計算できる準備を進めている

## カテゴリー5

工場から出る廃棄物の処理方法の改善

(廃棄物の削減＝不良品の発生を低減させる、トラブルを発生させない)

現状は、べて燃焼もしくは埋立をしている

種別によって処分方法を変える

- ①汚泥・廃油：セメント原料化
- ②廃プラ：再ペレット化・RPF※

※RPFは燃焼時にGHを排出する

## 最後に

- ・可能な限りGHGの排出を抑え、  
スコープ1・2はカーボンニュートラルを継続し、  
スコープ3のGHG排出量を削減していく

Fin